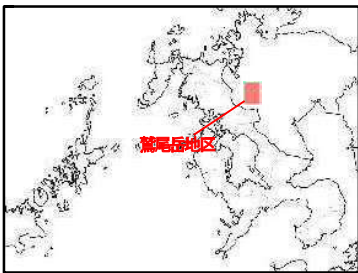


ながさきけん させほし えむかえちょう しとのうじ わしおだけ
長崎県 佐世保市 江迎町 志戸氏 一鷲尾岳地区一

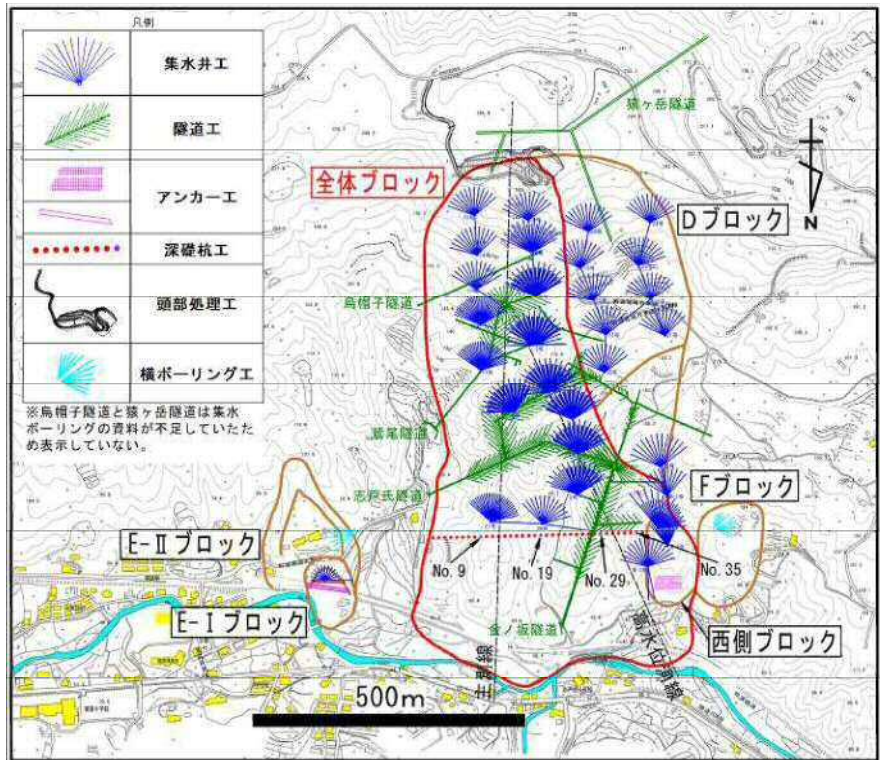
鷲尾岳地区は、長崎県佐世保市江迎町志戸氏に位置し、昭和25年に地すべりに伴う変状が発生した。昭和27年～30年は林野庁所管であったが、昭和34年に建設省（現国土交通省）所管として地すべり防止区域に指定され、昭和40年より対策工事を進めてきた。全体ブロックでは主な対策工として、集水井工、深礎杭工、排水トンネル工等が施工されている。近年は沈静化傾向がみられ、令和4年に概成となった。現在は地すべり観測による経過観察が行われている。



鷲尾岳地区位置図



航空写真



対策工平面図

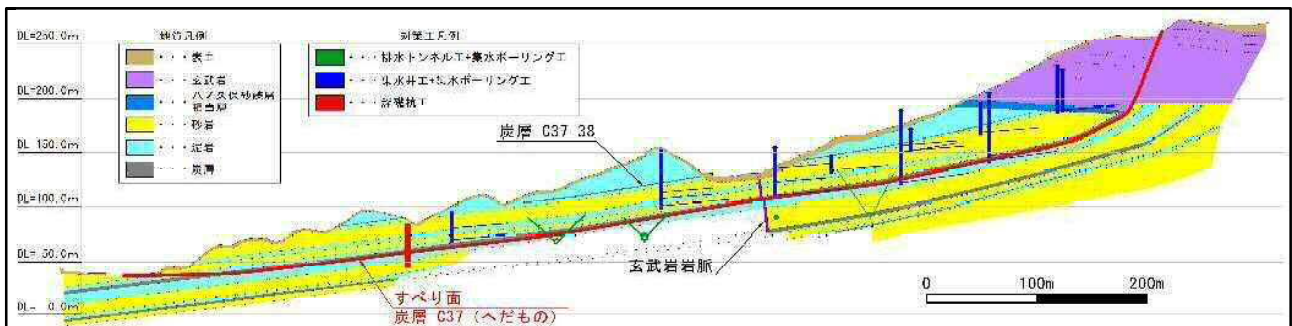
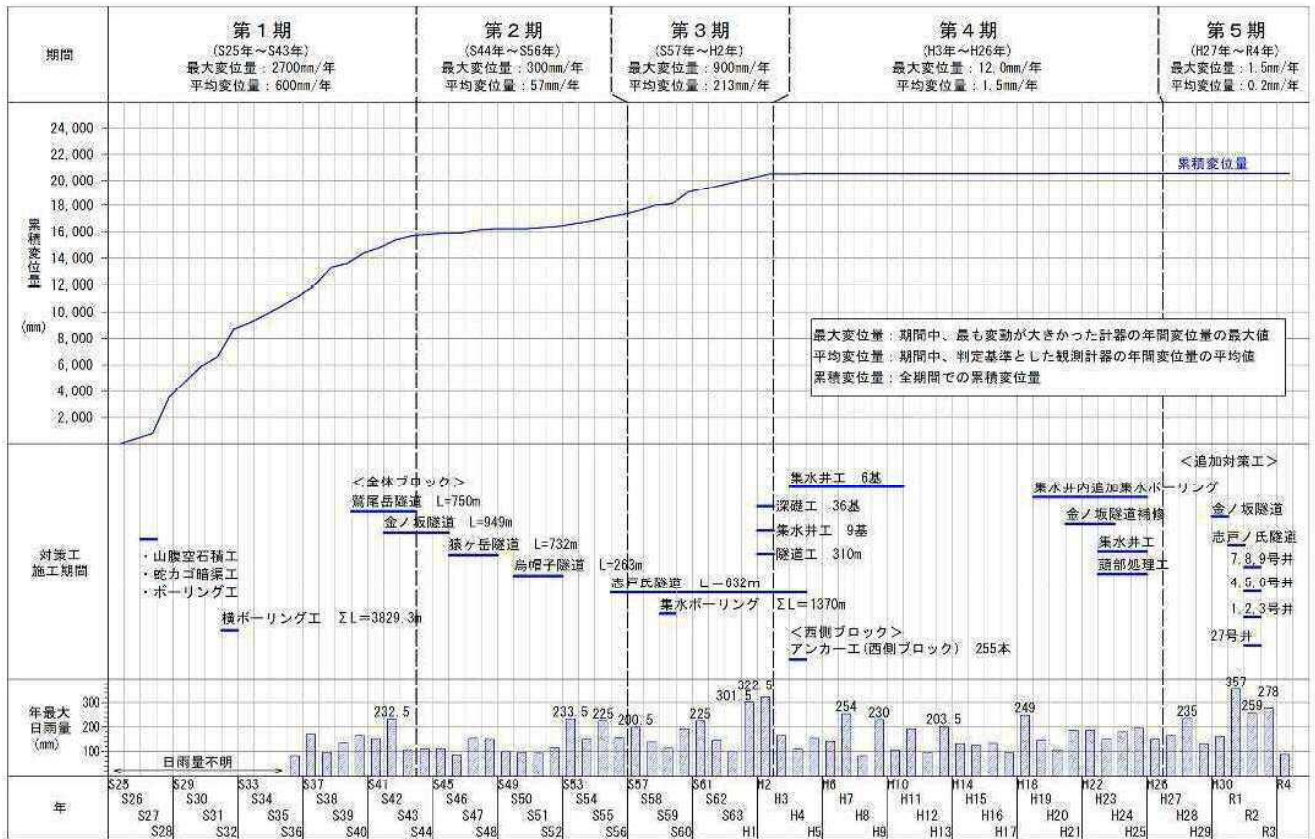


図-2 鷲尾岳地区全体ブロック主測線断面図



全体ブロックの変位量と対策工の経緯

① 全体ブロック頭部滑落崖
(左: 平成2年 右: 令和4年 頭部処理工施工後)

② 全体ブロック西側側排水路のずれ

③ 全体ブロック西側側排水開口亀裂

④ 金ノ坂隧道 排水状況
(令和2年 豪雨時)

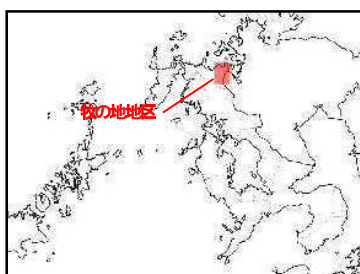
主な現地状況写真

ながさきけん させほし おがわちちょう まきじ
長崎県 佐世保市 小川内町 一牧の地地区一

牧の地地区は、長崎県北部の佐世保市小川内町に位置する。当地区は令和2年7月5日から8日の梅雨前線豪雨により、佐世保市の市道牧の地乙石線の路面に10~20cm程度の段差を伴う亀裂が連続した。そのため、佐世保市では災害対策基本法に基づき警戒区域を設定して、13世帯42名に立ち入り制限を行う警戒態勢の中、7月10日に大規模な地すべりが発生し、前述した市道付近を頭部とした幅200m×長さ300mの規模で土砂が流出した。

流出した土砂は、降雨に伴い泥流化し、普通河川妙観寺川を横断する暗渠を閉塞させ、河川水が主要地方道やトンネルに流れ込む状態に陥った。そのため主要地方道を通行止めとし、仮排水路と横ボーリング工が緊急的に施工され、地すべりは小康状態となっている。

地質調査の結果、当地区は「北松型地すべり」の地質構造を有していることが半明しており、主な対策工として横ボーリング工、集水井工、アンカー工、杭工が施工中である。



牧の地地区位置図



① 頭部滑落崖(起点側)



② 頭部滑落崖(終点側)



航空写真



④ 側部付近



③ 被害想定区域末端部

